

# なかの



# 1 月号

2020年(令和2年)

1月7日発行

No.59

# 市議会だより

発行 長野県中野市議会 編集 中野市議会だより編集委員会

●ホームページ <http://www.city.nakano.nagano.jp/> ●Eメール gikai@city.nakano.nagano.jp



奈良家の土人形「ねずみ」と「ねずみ大黒」

賀  
新  
年

子  
年

12月定例会

●市政一般質問	事件案	予算案	条例案	●議案件数及び議決内容	会期	閉会	開会
	5件	7件	2件	7件	12月16日	11月29日	
39件	可決	可決	承認	可決	18日間		

## 新年のごあいさつ

中野市議会議長 原澤年秋



方へ感謝申し上げます。  
市議会としましても、市の執行部と共に引き続き復旧・復興に取り組んで参いる所存でございます。

振り返りますと、昨年は

新年明けましておめでと

うございます。

市民の皆様には、輝かしい新春を健やかにお迎えのことと心からお慶び申し上げますとともに、日頃より市政発展のために多大なる理解とご協力を賜つておりますことに、心よりお礼申し上げます。

昨年10月の台風第19号により、本市でも千曲川の越水や河川の増水により住宅、農業施設などへの浸水、道路や農地の冠水のほか、農作物などに甚大な被害が発生しました。あらためて被害に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、災害復旧にご支援をいただきました多くの皆様

の新し時代の幕が開けました。夏の全国高等学校野球選手権に長野県代表として飯山高等学校が初出場し、また、リチウムイオン電池の開発で吉野彰氏がノーベル化学賞を受賞するなど、うれしい出来事が多々ありました。一方、度重なる台風により本市においても、全国的にも甚大な被害を受けた年でもありましたので、更なる防災・減災対策の重要性を再認識した年でもあります。

新たな年を迎え、いよいよ夏には東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。

昨年、本市では第二次ス

ポーツ推進計画を策定し、「市民みなスポーツ」で「みんなきいき元気なまち」を目指しております。市民の皆様には、健康増進・体力の保持等のためにもスポーツに取り組んでいただければと思います。

これまで本市では、人口減少・少子高齢化という課題解決と、活力ある地域経済を維持していくため「中野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき取り組んで参りました。議会といたしましても、令和の時代をけん引すべく意志を持ち、市民の皆様の声を市政に反映させ、二元代表制の一翼を担う機関として市政発展に努めて参ります。また公正で活力ある、開かれた議会運営に取り組み、市民の皆様のご期待に応えられるよう努力して参ります。

新春にあたり、市民の皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、本年が皆様にとって健康新生します。あらためて被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、災害復旧にご支援をいただきました多くの皆様へ感謝いたします。

## 防災・減災の取り組みについて

宇塚千晶



質問 市民への河川の水位に関する情報伝達方法は。

答弁 避難勧告発令時は氾濫する水位に達する恐れがあることを、避難指示発令時は水位が堤防を越える恐れがあることを防災行政無線で伝えている。

質問 河川によつて避難の目安となる水位が異なり、より細やかな情報伝達が必要である。洪水予報河川や水位周知河川に指定されていない県管理河川のうち、水位計が設置されている河川の情報を市民はどのように取得すればよいのか。

答弁 県のウェブサイトである河川砂防情報ステーションで確認していただく。

質問 避難所で個室やパーティションが必要な要配慮者への対応は。

答弁 改めて研究していく。

質問 ペットの同行避難に関する案内がなかつたため避難を控えたり、車中泊した方がいた。今後、どのよ

うな対策を行うのか。

答弁 同行避難は、鳴き声やアレルギーの問題もある。様々な視点から研究する。

## 社会的養護について

質問 本市の今年度の児童虐待相談件数は。

答弁 9月末で延べ370件であった。

質問 昨年度の県内児童福祉施設の在籍人数は572人、一時保護の実人員は207人であったが、里親委託率の全国順位は連続して下位である。相談窓口は県の児童相談所だが、本市も里親制度のPRに協力すべきである。取り組み状況はどうか。

答弁 チラシやポスター配布のほか、信州中野おごつそフエアでPRブースを出展した。今後も関係機関と協働で認知度向上に努める。

**質問** 利活用のアイデア募集等の状況は。

**答弁** 市民アイデア募集では、市が施設管理を継続することを前提としたアイデアが多かった。サウンディング型調査では、参加者が4者と少なく、5小学校の市場性を判断するには材料



## 小学校統合後の空き校舎の利活用について

永 沢 清 生

**質問** 不足と考えている。

**質問** 今後のスケジュールは。

**答弁** 市民アイデア等を参考にしながら、企業ヒアリングなどの市場調査を引き続き実施していく。

**質問** 災害時の避難所として施設整備を行つては。

**答弁** 今回の台風第19号では、閉校となる小学校の体育馆も避難所として開設した。閉校後の利活用については、使用状況および形態により、引き続き災害時の避難所として利用することが可能であるか利活用を希望する者と協議する。閉校となる小学校の体育馆は、現状維持が前提となるため配慮が必要な方には、福祉避難所に避難していただけ、避難所の職員を増員して対応する。

## 台風第19号被害に対する支援について

## 台風第19号被害に対する支援について

**質問** 農業被害に対する支援スケジュールは。

**答弁** 補助率增高申請後、速やかに工事を発注する。先行して自力で土砂の撤去を希望する方には、重機の借り上げによる支援を検討する。

開始し、計画した個所は全て完了した。

**質問** 維持管理の負担軽減に向けた取り組みは。

**答弁** 広域電気柵を等高線沿いに設置し、緩衝帯を整備することで、将来的には大幅な負担軽減につながる。作業用道路の確保に当たっては、山側を切土する必要等があることから、総合的に実現可能かを含め研究していく。

## 広域電気柵について

**質問** 緩衝帯の整備状況は。

**答弁** 平成24年から整備を

**質問** 避難所を日野小学校から南宮中学校に変更した経過と今後の対応は。

**答弁** 日野小学校の裏山から水が流れ出たため、避難者に危険が及ぶ可能性があると判断し、避難所を移した。日野小学校体育館は、構造上は様々な災害にも耐えうるものであるが、今回

の件を踏まえ、避難所指定について研究する。

**質問** 正常性バイアスを打破するため、防災行政無線の放送を工夫しては。また、半鐘の活用を図つては。また、サイレン音や放送頻度を増やすほか、他の自治体の事例を研究する。半鐘の活用

**質問** 桜の管理および清掃作業等への支援状況は。

**答弁** 園内の桜の管理は、東山観光協会に委託して行っている。公園の清掃作業等の協力体制は、同協会と研究していく。

**質問** 公園を賑わす定期的

**答弁** 旧中野高校跡地を含めた公園一帯を緑と文化・芸術ゾーンとしては。市では、東山公園を「歴史と緑のふれあい拠点」と位置付けており、旧中野高校跡地および高梨館跡公園と一体的なゾーンとして利活用を検討する。

**質問** 新市民会館建設の検討状況は。

**答弁** 今後の財政運営や現会館の状態を踏まえ、早期に一定の方向性を示したい。



## 台風第19号災害の対応について

中 村 秀 人

は、消防団員の安全管理上、実施しない。緊急自動車の大音量によるサイレンの吹鳴により、迫る危険を察知していただく。

**質問** 旧中野高校跡地を含めた公園一帯を緑と文化・芸術ゾーンとしては。市では、東山公園を「歴史と緑のふれあい拠点」と位置付けており、旧中野高校跡地および高梨館跡公園と一体的なゾーンとして利活用を検討する。

**質問** 旧中野高校跡地を含めた公園一帯を緑と文化・芸術ゾーンとしては。

**答弁** 東山公園一帯の整備等について

(注)

### 正常性バイアス

予期しない事態に直面した際、都合の悪い情報を無視したり、過小評価する偏見が働き、物事を正常の範囲内と認識してしまう心の働きのこと。自然災害など何らかの被害が予想される状況にあっても、それを正常な日常生活の延長上として捉え、避難行動の遅れの原因となることもある。



## 台風第19号被害について

青木正道

**質問** 10月12日、午後5時頃に伊豆半島に上陸した台風第19号は、関東、甲信、東北地方などに記録的な大雨を降らせ、中野市にも甚大な被害をもたらした。そして、7県71河川140カ所で堤防の決壩、越水が発生し、また、内水氾濫も同時に起きた。

今後の防災対策として、何としても堤防の整備が必要

要であると考える。堤防のかさ上げ、または、スーパー堤防化は可能か。

**答弁** 現在、堤防は全て完成しているため、かさ上げおよびスーパー堤防化の計画はないが、今回の甚大な被害を受け、国、県、市町村が連携し、治水対策の検討を始めた。

**質問** 平成26年に策定された信濃川水系河川整備計画

においては、立ヶ花狭窄部水系全体のバランスを図りながら実施する予定である。下流流量の確保後、立ヶ花狭窄部を行う計画である。しかし、現在、整備計画の見直しがなされており、立ヶ花狭窄部の早期実施が検討されている。

## 中野市の文化・芸術について

**質問** 中野市文化芸術協会は、文化の香るまちづくり

の中心として活動している。約半世紀が過ぎ、登録団体会員増の方策は、会員募集のチラシを各公民館に設置している。今後は、同協会とともに方策を検討していく。

**質問** 会費の減免、規約の見直し等を図るとともに、中央公民館の他の利用団体の方たちにも入会を促すなど、多様な対応を行つては。

**答弁** 今後、検討する。

## 合同金婚式について

**質問** 10月29日、市庁舎で

合同金婚式が行われた。内容の良い式典であつたが、終了後、参加者の何人から「懇親会がなく残念だ」との声があつた。懇親会を行わないこととした理由はない理由は。



## 災害対応について

中村明文

報の伝達方法は。

**答弁** 音声告知放送、音声自動応答案内、中野市すぐメール、各地区消防団のポンプ自動車等による情報発信を行っている。

**質問** 災害時等に動物シェルターを設置しては。

**質問** 災害時における臨時・嘱託職員の配置状況は。

**答弁** 臨時・嘱託職員は、災害時の活動体制の人員に含めていない。通常の勤務時間内に可能な範囲で災害対応業務に従事している。

## 市職員の採用について

**質問** 会計年度任用職員の採用見通しは。

**答弁** 現在、必要な職種や

人数を精査している。

**質問** 賃金・労働条件は。

**答弁** 報酬額は、競争試験によらず任用した正規職員の初任給号俸を基準とし、経験年数号俸を加算して決定する。年次休暇は、総務省マニュアルに則した取り扱いを予定している。

**質問** 令和2年度の正規職員の採用見通しは。

**答弁** 今年度の退職予定期数を上回る採用者数を見込

んでいる。職種は、行政、社会福祉士、保育士、一般事務を予定している。



## 災害時の避難所対策等について

町田博文

### 北部学校給食センターの調理業務委託について

質問 南部学校給食センターの調理業務の評価は。

答弁 これまで事故がなく、

安全な給食をおいしく提供できている。

質問 北部学校給食センターを委託した場合の委託料は。

答弁 業者選定の手続き前

であり示せない。

質問 委託業者の選定、入札に関する事務手続きのスケジュールは。

答弁 令和2年4月からの事業実施に支障が生じない

よう契約事務を進めていく。

### 他の質問 ・市の業務委託の考え方について

新市庁舎の見学を取り入れたためである。

質問 懇談の機会が欲しかったとの声を聞いているが。

答弁 今後、市民の意見を聞く中で検討していく。

### バイオマス産業都市構想について

大学、長野高専、JA中野市に参画いただいているが、引き続き協力を得ていく。

質問 キノコ事業者のメリットはどうか。

答弁 キノコ培地の廃棄処理に要していた経費がなくなり、バイオマス発電により新たな収入が見込める。

質問 今後10年にわたって本事業が進められていくが、第2期地方創生総合戦略の中核に位置付けてはどうか。

答弁 本市農産物が自然に優しい循環型社会の中で栽培されているというプラン

答弁 本市農産物が自然に優しい循環型社会の中で栽培されることは、地域特性をうまく活用した先導的な取り組みであり実現性を評価されたことが要因と考えている。

質問 具体的な市の支援は。

答弁 各種補助制度および規制面について、相談・助言などの支援がある。

質問 産学官連携はどうか。

答弁 構想策定段階からC

O<sup>2</sup>バンク推進機構、信州

質問 防災ガイドブックの更新をどのように行うのか。

答弁 現在、新たなガイドブックを制作しており、来年4月に全戸配布する。

質問 ハザードマップと航空写真をセットしたもの次回以降の更新の際には検討する。

質問 マイ・タイムラインの普及・周知を図つては。

答弁 4月発行のガイドブックに記事を掲載する予定である。希望があれば講座等の開催も考えていく。

質問 台風第19号災害の経験を今後の災害対応にどのように生かしていくか。

答弁 本年の会場を市役所庁舎とした理由は何か。

答弁 事業内容を見直し、

### 合同金婚式について

他の質問  
・公共工事の平準化について  
・プレミアム付商品券について  
・子どもの貧困対策について

マイ・タイムラインを作成することで、それぞれの避難に必要な情報を判断・行動を把握することができ、災害時等に適切な行動をとることが可能となる。

(注)

マイ・タイムライン

台風の接近等により

風水害が起こる可能性

があるときに、家族構成や生活環境に合わせて、「何をするのか」「誰が」「人ひとり」があらかじめ時系列で整理して、取りまとめる計画のこと。

マイ・タイムラインを作成することで、それぞれの避難に必要な情報を判断・行動を把握することができ、災害時等に適切な行動をとることが可能となる。



漂着ゴミへの対応は。

答弁 今後、検討する。

**質問** 上今井区の住宅地へ  
の最も反響の方は、

の浸水被害防止策は  
**答弁** 地元要望もあり、県  
道三水中野線のボックスカルバートを出水期までに閉  
鎖したい。県道付近の用水

## 台風第19号による被害について

阿部光則

**質問** 台風第19号により、住宅、農林業等に大きな被害がでた。被災者の生活・生業の再建に対する支援をどのように進めるのか。

路は、浸水防止策を並行して進める。本沢川の内水対策としては、固定式排水ポンプを1台設置する。県道の越水対策については、堤防ではなく、かさ上げは難しい。堤防の早期完成を国に強く要望する。

## 豊田支所の職員体制について

**質問** 副市長が支所長事務取り扱いとなつてゐることは暫定措置か。来年度以降は支所長を配置すべきでは

## 中野市バイオマスタートップ 構想について

**質問** 事業のメリット、また、運用開始の目途は。

**答弁** 今年度からは、長寿の節目である米寿、百寿、男女の最も高齢の方に褒状および記念品をお贈りすることとした。

用が原則であるが、自宅で理容・美容を受けることは大変である。通所介護施設でも利用できるものとし、金銭面も含め介護者の負担軽減を図るべきでは、答弁 今後、研究する。

**質問** 要介護者への理容・美容料の助成内容は変更したのか。

## 消費税増税対策について

**答弁** 昨年度までは額面3千800円券を配布していたが、今年度からは、利用する度に使えるよう額面千円券を複数枚交付している。

商品券事業が実施されてい  
る。商品券対象者の申請状  
況および購入状況は。

高齢者支援について

**質問** 敬老祝品贈呈事業はどのように事業見直しがなされたのか。

**質問** 昨年度と今年度の利用状況は。

**答弁** 要介護者利用分の9月末での比較では、昨年度は73万9千750円、本年度は21万8千円である。

**質問** 理容・美容は自宅利

**答弁** 申請および購入は伸び悩んでいます。11月末での購入引換券の発行状況は、全体の4割程度である。原因是、低所得者にあつては、手続きが煩雑であること、一時的な購入資金の用意が負担のようである。

## 消費税増税対策について

理容・美容料の助成

## その他質問

**答弁** キノコ培地の有効活用、野積みによる臭気問題が解消できる。5年以内にバイオガスプラントを立ち上げる。

中野市在宅福祉支援事業における助成制度の一つ。市内在住の在宅介護を必要とする重度要介護高齢者、要介護高齢者及び重度心身障がい者の方に、自宅で理容・美容を受けた際、一定の要件のもと一回につき千円が助成される対象者には、年最大6枚の助成券が交付され



## 台風第19号被害について

芦澤孝幸

**質問** 避難所における、ひとり暮らし高齢者や障がい者に係る情報の共有と対応はどうであったか。

**答弁** 市では、災害時に自ら避難することが困難で、特に支援を要する方649人の同意のもと、避難行動要支援者名簿を作成しており、区長、民生児童委員、警察、

消防、中野市社会福祉協議会へ提供している。今回は名簿を元に、民生児童委員に訪問または電話での安否確認、避難の呼びかけを行つていただいた。

**質問** 義援金等の受付状況と配分方法は。

**答弁** 12月5日現在で、義援金999万464円、見舞金168万

6千324円、寄附金1千310円である。今後、災害義援金配分委員会を組織し、被災状況を考慮の上、対象者、分配内容、配分方法等の基準を定め、適正に被災者に配分する。

## 農業振興について

### 除雪について

**質問** 除雪業者の安定した除雪体制確保のための待機時間における補償料の考え方方は。

**答弁** 待機補償料については、除雪業務委託契約において除雪機械待機と連絡員

待機を業務の一部としておこなう事業を進めていく。大雪警報が発令され、異常降雪が予想される場合には、市から待機命令を発し、補償料を支払うこととしている。

## 農業振興について

### 除雪について

**質問** 市内農産物の輸出状況は。

**答弁** それぞれの生産者や民間事業所および各JAにおいて手続きを行つており、市では把握していない。

**質問** 今後の対応は。

**答弁** 輸出に関する相談窓

口は県の農産物マーケティング室に設置されている。市でも県および関係機関と連携し、海外での新たな需要創出と販路拡大を図ることで、更なる生産拡大につながる事業を進めていく。

**質問** 市内農産物の盗難被害の状況と今後の対応をどう考えるか。

**答弁** 被害が毎年発生していることは承知しているが、詳細な状況は把握していない。今後、盜難被害の防止策について、JA等関係機関と研究していく。

## 引きこもり対策と民生委員の活動について

高木尚史

## 養護老人ホーム高社寮移転後の利活用について

**質問** 移転後の施設については、建物の利活用と更地にした土地を活用する選択肢があるが活用方針は。

**答弁** 建物は市による利活用はない。更地を返還された場合は改めて検討する。

## 中学生の海外短期留学事業について

**質問** 県内の民生児童委員による引きこもりに関する実態調査の結果はどうか。

**答弁** 引きこもり該当者は2千290人である。40歳以上が63・1%を占め、10年以上上引きこもっている方は40・1%で、引きこもりの高

齢化・長期化が考えられる。

**質問** 本市の実態はどうか。

**答弁** 該当者は28人で、30代が8人と最も多く、期間10年以上が8人である。

**質問** 総合的な窓口は健康づくり課であるが、福祉課や高齢者支援課にも専門職員を配置して相互に連携をとつて対応している。

**質問** 民生委員の交代時期を迎えたが、災害時を含め委員活動における個人情報の共有体制はどうか。

**答弁** 国のガイドラインを基に体制整備を図っている。

**質問** 避難行動要支援者名簿への登載に同意しない方の災害時の救援対応は。

**質問** 令和3年3月に高社寮が飯山市へ移転することが決定した。現在の入所者への対応と今後の入所希望者への対応はどうか。

**答弁** 全員が移転を希望し、入所でくるとのこと。今後の入所希望者には希望に添つて相談に応じていく。

**質問** 昨年度の実績と成果および反省点は何か。

**答弁** オーストラリア・メルボルン市へ20人が参加し、

総務文教委員会に付託された補正予算の専決処分の報告1件、条例案3件、予算案2件および事件案1件について、11月29日および12月11日に審査しました。主なものとして、令和元年

年度中野市一般会計補正予算（第3号）の専決処分の報告については、補正総額13億6千51万5千円を追加し、令和元年度中野市一般会計補正予算（第4号）では、補正総額41億3千56

## 総務文教委員会報告

**質問** 千曲川の越水場所は、立ヶ花区、栗林区の2カ所である。

**答弁** 越水した堤防のかさ上げ、河道掘削を行つては、堤防は平成28年度に完成済み。今回の被害を受

**質問** 河川整備の早期実施を関係機関とともに強く要望する。

**答弁** 県道堤防に繋がる県道三水中野線の低い部分と堤防東側をかさ上げしては、

**質問** 厚生労働省が感染症対策として推奨しているため、小容量の消毒薬と噴霧器の配布を今後検討する。

**答弁** 避難者数と場所は、中野小65人、日野小7人、南宮中309人、延徳小165人、中野平中188人、高丘232人、西部公民館64人、

**質問** 気象情報や降雨状況河川の水位などを総合的に判断して解除する。

**答弁** 人口問題と市公共施設最適化計画について

**質問** 20年後の人口予測は、

**答弁** 目標人口は、3万7千500人としている。

**質問** 市では、令和7年までに公共施設の延床面積20%、約4万2千m<sup>2</sup>を縮減する予定であるが進捗状況は。

**答弁** これまでに豊田学校給食センター、屋内ゲートボール場、帶の瀬農産物加工施設など13施設、延床面積1万197m<sup>2</sup>を縮減した。

万2千円を追加するものです。補正予算2議案における台風第19号災害の復旧関連予算額は約54億円です。

2議案を合わせた歳入では、国および県からの負担金収入等のほか、約8億円

の財政調整基金の繰り入れ、20億7千700万円の市債が計上されました。

歳出では、災害時に使用した備蓄食料等の備蓄品の補充等であり、原案どおり承認および可決されました。

そのほかの条例案3件、予算案1件、事件案1件については、原案どおり可決されました。



### 台風第19号の風水害について

芋川吉孝

異文化に触れ大きな自信となつたと報告を受けた。反省点は、事前研修が十分ではなくかった点である。

**質問** 今年度の実施状況は。

州ポートランド市へ10日間、14人が参加した。

**質問** 参加者の体験を進学・進路にどう生かすのか。

**答弁** アメリカ・オレゴン州ポートランド市へ10日間、14人が参加した。

**質問** 今後の進路の選択肢を広げる機会となつてはいる。

**質問** 参加費の個人負担20万円は妥当な設定か。

**答弁** 一人当たり経費を40

万円以内とし、各種事業の補助率等を考慮し決定した。

**質問** 参加しやすいよう滞在日数の縮減等を行つては。

**答弁** 実施時期や滞在日数

を再検討し、経費全体を低く抑える努力をしたい。

**質問** 目標人口は、3万7千500人としている。

**質問** 市では、令和7年までに公共施設の延床面積20%、約4万2千m<sup>2</sup>を縮減する予定であるが進捗状況は。

**答弁** これまでに豊田学校給食センター、屋内ゲートボール場、帶の瀬農産物加工施設など13施設、延床面積1万197m<sup>2</sup>を縮減した。

民生環境委員會報告

民生環境委員会に付託された補正予算の専決処分の報告1件、条例案2件、予算案4件および事件案2件について、11月29日および12月11日に審査しました。主なものとして、令和元年度中野市一般会計補正予算（第3号）の専決処分の報告についてでは、民生費で、被災者生活再建支援法の適用対象とならない被災

世帯に対する支援を行うための信州生活再建支援金・3千350万円、被災世帯への災害援護資金の貸し付けを行うための災害援護貸付金1千611万円、災害ゴミ処分業務委託料1億円の追加などです。

円の追加などであり、補正予算2議案とも原案どおり承認および可決されました。中野市保育所条例の一部を改正する条例案では、令和2年4月に「中野市ひらおか保育園」が開園となることから所要の改正が行われたもので、原案どおり可決されました。

てでは、現在、指定管理を行つてゐる中野市体育協会の指定管理期間が令和2年3月31日で満了となるため、引き続き、同協会に5年間の指定管理の指定を行うもので、原案どおり可決されました。

そのほかの条例案1件、予算案3件、事件案1件についても、原案どおり可決されました。

11月21日、東北信9市議会正副委員長研修会が東御市で開催されました。この研修会は、東北信地域の中野市、長野市など9市議会の議長および副議長と各委員会の正副委員長が議会活動等について見識を深めるため参加し、開催されたものです。

早稲田大学 名誉教授 北川正恭氏を講師に迎え、「地方創生時代における地方議会の役割とは」と題する講演をお聴きしました。

# 東北信9市議会 正副委員長研修会



## 12月定例会の審議結果

議案番号	件 名	審議結果	議案番号	件 名	審議結果
議案第1号	令和元年度中野市一般会計補正予算（第3号）の専決処分の報告について	承認	議案第11号	令和元年度中野市一般会計補正予算（第5号）	可決
議案第2号	令和元年度中野市下水道事業会計補正予算（第2号）の専決処分の報告について	承認	議案第12号	令和元年度中野市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	可決
議案第3号	中野市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	可決	議案第13号	令和元年度中野市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）	可決
議案第4号	中野市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	可決	議案第14号	令和元年度中野市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	可決
議案第5号	中野市議会議員及び中野市長の選挙における選挙公報の発行に関する条例の一部を改正する条例案	可決	議案第15号	令和元年度中野市下水道事業会計補正予算（第3号）	可決
議案第6号	中野市保育所条例の一部を改正する条例案	可決	議案第16号	令和元年度中野市水道事業会計補正予算（第1号）	可決
議案第7号	中野市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案	可決	議案第17号	中野市多目的サッカー場の指定管理者の指定について	可決
議案第8号	中野市公共物管理条例の一部を改正する条例案	可決	議案第18号	中野市し尿等投入施設の整備工事委託に関する基本協定の変更について	可決
議案第9号	中野市営住宅等に関する条例の一部を改正する条例案	可決	議案第19号	市道路線の廃止について	可決
議案第10号	令和元年度中野市一般会計補正予算（第4号）	可決	議案第20号	市道路線の認定について	可決
			議案第21号	中野市立豊田小学校及び豊田中学校整備工事変更請負契約の締結について	可決



○議案件数および議決内容  
 事件案 2件 可決  
 • (仮称) 中野市新平岡保育園建設工事変更請負契約の締結について  
 • 中野市立豊田小学校及び豊田中学校整備工事変更請負契約の締結について

○会期  
 10月8日～1日間

**10月臨時議会**

本会議は、自由に傍聴いただくことができます。

市政を知る良い機会ですので、是非、お出かけください。

聴覚に障がいのある方には、手話通訳者を配置いたします。ご希望の方は、事前に議会事務局までご連絡をお願いいたします。音声の聞き取りづらい方には、専用の音声受信機の貸し出しをいたしますので、傍聴にお越しの際に、議会事務局までお申し出ください。

**傍聴等に関するお問い合わせ先**

電話 (22) 2111 (内線316) FAX (22) 5922

Eメール gikai@city.nakano.nagano.jp

**傍聴しませんか**

## 台風被害調査

11月19日、全議員が参加し市内の台風第19号の被害状況調査を実施しました。農業関係として、柳沢区、大俣区、栗林区および上今井区の農地を調査しました。各農地とも厚く土砂が堆積し、多くの災害ゴミが漂着していました。また、多くの烟かんが被害を受けていました。



柳沢区 農地



B &amp; G 海洋センター駐車場

本市では台風第19号により住家、農地、インフラなどに甚大な被害が生じました。市議会としましても、市、関係機関と連携し、早期の復旧に尽力して参ります。



草間農協線

**第5代前期  
議会だより  
編集委員名簿**

委員長	芦澤 孝幸	(順不同)
副委員長	松野 繁男	
委 員	松樹 純子	
	中村 秀人	
	中村 明文	
	宇塚 千晶	
町田 正道		
高野 清生		
永沢 青木		
博文 良之		



2019年の「今年の漢字」は「令」でありました。昨年、中野市は台風第19号の被害を受け、残念ながら2018年の漢字「災」に当てはまる年となってしまいました。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げるとともに、一日も早い復旧・復興を願っております。

今まで想定されていた以上の災害にも対応できる防災・減災対策を真剣に考える時を迎えていたのですが世界中で起きています。昨今、地球温暖化が原因と考えられる異常気象が世界中で起きています。

これまで想定されていた以上の災害にも対応できる防災・減災対策を真剣に考える時を迎えていたのです。さて、今年はいよいよ東京2020オリンピック・パラリンピックが開催されます。日本選手団が「TEAM JAPAN」として一丸となり、私達に大きな感動を与えてくれるのではないかと思います。

2020年の漢字が「金」となることを期待しております。

**あとがき**